

Stephanie Jane Burt

窓を飾る, 2020

Stephanie Jane Burt は、デッサン、彫刻、インスタレーションを手がけるアーティストです。作品の中で、映画やフェミニスト文学から引用した架空の物語を探求しています。文学や映画の研究を通して得たインスピレーションを元に、再利用された素材でできた、軽くて繊細な彫刻のインスタレーションが創り出されています。こちらの作品「窓を飾る」は Virginia Woolf の小説『灯台へ』の「Time Passes」という章を引用しています。「Time Passes」はこの展覧会のタイトルでもあります。この小説は、悲しみ、記憶、また人々がそれらとどう向き合っ、時と共に変化していったかについて、時系列で記録しています。

「Time Passes」の章では、10年全体がわずか20ページに凝縮して書かれています。かつて家族がバケーションで過ごした別荘が静かな廃墟に化していく様子が綴られています。インスタレーションの中で Stephanie は、ギャラリーを小説の舞台に見立てています。金属のフレームで作られた二つの窓には、過去の作品から再利用された素材が覆われていたり、結ばれていたり、吊り下げられていたりしています。これらは、小説の中に登場する廃退した家の周りに散乱し、忘れ去られたものたちに似ています。現在進行中のコロナウィルスの状況が私たちの生活にどのような混乱と変化をもたらしたのか...この窓をじっくり観察しながら、これまでの変化を振り返り、そして今後どう変わっていくのか思いを巡らせてみましょう。